

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ピエトロ

コード番号 2818 URL <http://www.pietro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 村田 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員

(氏名) 池田 邦雄

TEL 092-724-4925

四半期報告書提出予定日

平成21年2月13日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	6,687	—	102	—	67	—	△130	—
20年3月期第3四半期	7,001	△4.0	540	△24.5	502	△26.2	335	△5.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△23.34	—
20年3月期第3四半期	59.95	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	7,750	2,710	35.0	484.75
20年3月期	7,668	2,932	38.2	524.40

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 2,710百万円 20年3月期 2,932百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,780	△2.1	70	△87.1	30	△93.8	△160	—	△28.62

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 5,591,630株 20年3月期 5,591,630株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 300株 20年3月期 300株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 5,591,330株 20年3月期第3四半期 5,591,330株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い、四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間（平成20年4月～平成20年12月）におけるわが国経済は、資源価格の高騰による企業収益の悪化に加え、米国発の金融危機に端を発した世界経済の減速による輸出の減少、雇用環境の悪化による個人消費の低迷など景況感は厳しさを増してまいりました。

食品業界及び外食業界におきましても、企業収益の悪化による個人所得の先行き不安感から、消費者が節約志向を強め、極めて厳しい状況で推移してまいりました。

このような状況のもとで、当社グループは、食品事業において、ブランド重視の販売戦略の継続と健康志向の高品質商品の開発に取り組んでまいりました。また、レストラン事業においては、多彩なメニューの提供と店舗サービスの向上による集客力アップに取り組んでまいりました。

しかしながら、予想以上の個人消費の低迷と原材料価格の高止まりなどの影響により、当第3四半期累計期間の業績は、売上高66億87百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益は1億2百万円（前年同期比81.1%減）、経常利益は67百万円（前年同期比86.5%減）となり、さらに減損損失等2億48百万円の特別損失を計上の結果、四半期純損失は1億30百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①食品事業

食品事業におきましては、既存の主力ドレッシング（オレンジキャップ、ライトタイプ、グリーン）を中心として得意先に対するブランド訴求の販売企画提案による営業を強化するとともに、平成20年9月に発売した日清オイリオグループ株式会社との共同開発商品「ピエトロドレッシング『BOSCO』」の拡販に取り組んでまいりました。

しかしながら、同業他社との競争はもとより量販店のPB（プライベートブランド）商品との競合が一層激しくなり、販売が伸び悩み、売上高は33億98百万円（前年同期比4.8%減）となり、さらに、コスト面で原材料仕入価格の高止まりとともに、新商品拡販に向けた販売促進費の積極的な投入により、営業利益は8億37百万円（前年同期比25.1%減）となりました。

#### ②レストラン事業

レストラン事業におきましては、グランドメニューに加え季節感あふれるフェアメニューやランチメニュー等、多彩なメニュー展開を推進してまいりました。また、来店いただいたお客様に対する、感謝をこめた販促キャンペーンに注力し、「おいしかった、また来るよ」と言っていただけの店舗運営に取り組んでまいりました。

しかしながら、物価上昇などを背景として、消費者が外食を手控える傾向が強まり、郊外店を中心に来店客数が減少し、売上高は31億53百万円（前年同期比3.7%減）となり、一方、コスト面で販売促進費の効率化は果たせたものの営業損失は1億32百万円となりました。

#### ③その他の事業

その他の事業におきましては、本社ビルの一部テナントの退去により、売上高は1億34百万円（前年同期比15.4%減）、営業利益は74百万円（前年同期比19.0%減）となりました。

なお、前年同期比は参考として記載しております。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ81百万円増加し、77億50百万円となりました。これは、運転資金の借入等による現金及び預金の増加1億22百万円、第3四半期末が金融機関休業日であることによる売掛金の増加1億57百万円など流動資産が3億1百万円増加する一方、減価償却の実施、減損損失等により固定資産が2億20百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億2百万円増加し、50億39百万円となりました。これは、売掛金と同様に第3四半期末が金融機関休業日であることによる買掛金の増加1億37百万円、長短借入金の増加36百万円などによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億21百万円減少し27億10百万円となりました。これは、前期決算の剰余金の配当83百万円及び四半期純損失1億30百万円の計上等によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年10月31日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
固定資産の減価償却費の算定方法等について、一部簡便的な会計処理を適用しております。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
  - ①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
  - ②通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）により算定しております。  
これによる当第3四半期連結累計期間の損益及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。
  - ③第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。  
これによる当第3四半期連結累計期間の損益及びセグメント情報に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	905,740	783,065
預け金	84,662	66,672
売掛金	1,043,680	886,012
製品	41,941	51,436
原材料	85,306	72,886
仕掛品	2,310	1,883
貯蔵品	19,901	21,279
その他	116,223	121,304
貸倒引当金	△17,916	△24,130
流動資産合計	2,281,849	1,980,410
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,851,234	2,041,014
土地	1,968,498	1,938,568
その他(純額)	153,868	203,458
有形固定資産合計	3,973,601	4,183,041
無形固定資産	7,670	8,617
投資その他の資産		
敷金及び保証金	718,627	743,987
その他	854,750	766,734
貸倒引当金	△86,296	△13,860
投資その他の資産合計	1,487,082	1,496,861
固定資産合計	5,468,354	5,688,520
資産合計	7,750,203	7,668,931
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	582,734	445,229
短期借入金	1,600,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	570,050	499,616
未払法人税等	9,041	9,528
賞与引当金	27,503	54,911
その他	610,449	453,080
流動負債合計	3,399,777	2,962,365
固定負債		
長期借入金	1,132,824	1,267,112
退職給付引当金	60,005	46,580
役員退職慰労引当金	321,581	307,745
その他	125,603	153,026
固定負債合計	1,640,013	1,774,463
負債合計	5,039,791	4,736,829

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	474,400	474,400
資本剰余金	516,922	516,922
利益剰余金	1,766,475	1,980,837
自己株式	△284	△284
株主資本合計	2,757,513	2,971,875
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,561	121
為替換算調整勘定	△50,664	△39,895
評価・換算差額等合計	△47,102	△39,773
純資産合計	2,710,411	2,932,101
負債純資産合計	7,750,203	7,668,931

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	6,687,120
売上原価	3,176,635
売上総利益	3,510,485
販売費及び一般管理費	3,408,454
営業利益	102,030
営業外収益	
受取利息	2,714
受取配当金	318
その他	2,797
営業外収益合計	5,830
営業外費用	
支払利息	34,168
その他	6,038
営業外費用合計	40,207
経常利益	67,653
特別損失	
減損損失	156,471
貸倒引当金繰入額	55,574
その他	36,582
特別損失合計	248,629
税金等調整前四半期純損失(△)	△180,975
法人税、住民税及び事業税	7,413
法人税等調整額	△57,898
法人税等合計	△50,484
四半期純損失(△)	△130,491

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△180,975
減価償却費	186,556
減損損失	156,471
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	66,222
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△27,408
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	13,424
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	13,836
投資有価証券評価損益 (△は益)	25,674
受取利息及び受取配当金	△3,033
支払利息	34,168
売上債権の増減額 (△は増加)	△157,667
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,114
仕入債務の増減額 (△は減少)	137,971
未払消費税等の増減額 (△は減少)	18,828
その他	31,563
<b>小計</b>	<b>313,519</b>
法人税等の支払額	△6,108
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>307,410</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△77,343
有形固定資産の取得による支出	△64,921
会員権の売却による収入	8,188
敷金及び保証金の差入による支出	△29,080
敷金及び保証金の回収による収入	53,772
利息及び配当金の受取額	4,732
その他の収入	9,747
その他の支出	△56,379
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△151,283</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	100,000
長期借入れによる収入	300,000
長期借入金の返済による支出	△363,854
配当金の支払額	△83,580
利息の支払額	△32,641
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△80,076</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,879
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	69,170
現金及び現金同等物の期首残高	772,503
現金及び現金同等物の四半期末残高	841,673

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

（単位：千円）

	食品事業	レストラン事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,398,763	3,153,369	134,987	6,687,120	—	6,687,120
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	1,462	1,462	(1,462)	—
計	3,398,763	3,153,369	136,449	6,688,582	(1,462)	6,687,120
営業利益又は営業損失(△)	837,301	△132,916	74,764	779,149	(677,118)	102,030

(注) 1 事業区分の方法

事業の内部管理区分を考慮して区分しております。

2 各事業区分の主な内容

- (1) 食品事業……………ドレッシング、ソース、レトルト等の製造販売
- (2) レストラン事業……スパゲティ、ピザ等のレストラン経営、パスタ専門ファストフード店経営
- (3) その他の事業……………本社ビル等の賃貸

b. 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

全セグメントの売上高の合計額に占める日本の割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額 (千円)
I 売上高	7,001,668
II 売上原価	3,134,420
売上総利益	3,867,247
III 販売費及び一般管理費	3,326,755
営業利益	540,491
IV 営業外収益	6,284
受取利息及び受取配当金	4,703
その他	1,580
V 営業外費用	44,517
支払利息	34,940
その他	9,577
経常利益	502,258
VI 特別損失	47,136
固定資産除却損	28,093
減損損失	17,135
その他	1,907
税金等調整前四半期純利益	455,122
法人税等	119,936
四半期純利益	335,185

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	455,122
減価償却費	209,176
減損損失	17,135
引当金の増減額(減少:△)	△13,475
固定資産除却損	28,093
支払利息	34,940
売上債権の増減額(増加:△)	△103,674
たな卸資産の増減額(増加:△)	△10,517
仕入債務の増減額(減少:△)	29,616
その他(減少:△)	25,217
小計	671,634
法人税等の支払額	△14,394
営業活動によるキャッシュ・フロー	657,240
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△115,754
有形固定資産の売却による収入	16,636
その他(減少:△)	△23,028
投資活動によるキャッシュ・フロー	△122,146
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金純増減額(減少:△)	100,000
長期借入れによる収入	400,000
長期借入金の返済による支出	△1,043,292
その他(減少:△)	△223,122
財務活動によるキャッシュ・フロー	△766,414
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	△152
<b>V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)</b>	△231,472
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	1,068,531
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	837,058

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

(単位:千円)

	食品事業	レストラン事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,568,427	3,273,646	159,593	7,001,668	—	7,001,668
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	1,509	1,509	(1,509)	—
計	3,568,427	3,273,646	161,103	7,003,178	(1,509)	7,001,668
営業費用	2,451,094	3,312,337	68,845	5,832,277	628,899	6,461,176
営業利益	1,117,333	△38,690	92,257	1,170,900	(630,408)	540,491

(注) 1 事業区分の方法は、事業の内部管理区分を考慮して区分しております。

2 各事業区分の主な内容

(1) 食品事業……………ドレッシング、ソース、ヨーグルト等の製造販売

(2) レストラン事業……スパゲティ、ピザ等のレストラン経営、パスタ専門ファストフード店経営

(3) その他の事業……………本社ビル等の賃貸

3 営業費用のうち「消去又は全社」の項目に含めた配賦不能な金額は、630,408千円であり、その主なものは管理部門に係る費用であります。

b. 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間においては、開示しておりません。

c. 海外売上高

前第3四半期連結累計期間においては、開示しておりません。